

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : **62-031246**

(43)Date of publication of application : **10.02.1987**

(51)Int.CI.

H04M 3/42

(21)Application number : **60-170730** (71)Applicant : **NEC ENG LTD**

(22)Date of filing : **02.08.1985** (72)Inventor : **AZEHARA TOSHIYUKI**

(54) DESIGNATED TIME CALLING SYSTEM

(57)Abstract:

PURPOSE: To know the origin of purpose of calling by sending a message in accordance with a registered message code from a sound synthesizing device.

CONSTITUTION: The designated calling time data, the called extension data and the sound synthesizing message data are registered in a designated time calling memory 8. On the other hand, a central control device 6 reads the present time from a clock device 9 by the periodical program, and by the control of the central control device 6, a called extension subscriber 2 is called from a calling signal sending unit 10. When a called extension subscriber 2 responds, the message designated from the sound synthesizing message code data of the memory area is sent from a sound synthesizing device 5 to the called extension subscriber 2.

LEGAL STATUS

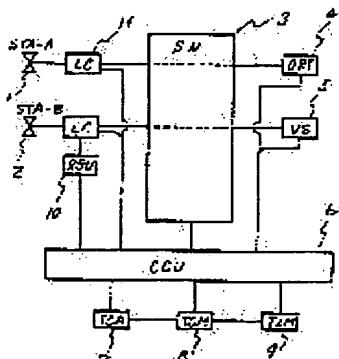
[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]



⑩ 日本国特許庁 (JP) ⑪ 特許出願公開
⑫ 公開特許公報 (A) 昭62-31246

⑬ Int.CI.¹
H 04 M 3/42

識別記号 庁内整理番号
V-8125-5K
J-8125-5K

⑭ 公開 昭和62年(1987)2月10日

審査請求 未請求 発明の数 1 (全3頁)

⑮ 発明の名称 指定時間呼出し方式

⑯ 特願 昭60-170730
⑰ 出願 昭60(1985)8月2日

⑱ 発明者 畑原 敏行 東京都港区西新橋3丁目20番4号 日本電気エンジニアリング株式会社内
⑲ 出願人 日本電気エンジニアリング株式会社 東京都港区西新橋3丁目20番4号
⑳ 代理人 弁理士 内原 晋

明細書

1. 発明の名称

指定時間呼出し方式

2. 特許請求の範囲

音声合成装置を有する電子式構内交換装置において、呼出される加入者の内線番号、呼出時刻及びメッセージの種別コードを登録する記憶装置を中央制御装置に設け、メッセージを伝えたい内線加入者が、被呼内線番号、呼出時刻及び音声合成装置から送出可能な幾つかのメッセージの中で被呼内線に伝えたいメッセージを指定するコードをダイヤルして登録し、中央制御装置は定期的に前記記憶装置を走査し呼出時間に該当した被呼内線を自動的に呼出し、登録されていたメッセージ・コードに従い音声合成装置からメッセージを伝えることを特徴とする指定時間呼出し方式。

3. 発明の詳細な説明

〔達成上の利用分野〕

本発明は電子式構内交換装置の指定時間呼出し方式に関する。

〔従来の技術〕

従来の指定時間呼出し方式は予め設定された時刻に指定された内線加入者を呼出し、応答により予め定められたアナウンスや音楽などを附かせる方式となっていた。

〔発明が解決しようとする問題点〕

上述した従来の指定時間呼出し方式は、指定時刻の呼出し応答にて予め定められた固定のメッセージを附かせるものとなっており、呼出す目的が限定されているホテルのモーニング・コール等には適当であるが、他の目的にて呼出す場合呼び出された詳細の理由が判らないという問題点がある。

〔問題点を解決するための手段〕

本発明によると音声合成装置を有する電子式構内交換装置において、呼出される加入者の内線番号、呼出時刻及びメッセージの種別コードを登録する記憶装置を中央制御装置に設け、メッセージ

を伝えたい内線加入者が被呼内線番号、呼出時刻及び音声合成装置から送出可能な幾つかのメッセージの中で被呼内線に伝えたいメッセージを指定するコードをダイヤルして登録し、中央制御装置は定期的に前記記憶装置を走査し呼出時間に該当した被呼内線を自動的に呼出し、登録されていたメッセージ・コードに従い音声合成装置からメッセージを伝えることを特徴とする指定時間呼出し方式が得られる。

〔実施例〕

次に本発明の一実施例について、図面を参照して説明する。図において1は内線加入者(STA-A)、2は被呼内線加入者(STA-B)、3は主スイッチ(SW)、4は発信レジスタトランク(ORT)、5は音声合成装置(VS)、6は中央制御装置(CCU)、7は指定時間呼出番号分析回路(TCA)、8は指定時間呼出メモリ(TCM)、9は時計装置(TIM)、10は呼出信号送出ユニット(RGU)、11はライン回路(LC)である。

メッセージを音声合成装置5より被呼内線加入者2に送出する。

〔発明の効果〕

以上説明したように、本発明は内線加入者の操作により被呼内線番号、呼出時刻及び音声合成装置から送出可能な幾つかのメッセージの中で被呼内線に伝えたいメッセージを指定するメッセージ種別コードをダイヤルして登録し、指定された時刻に該当した被呼内線を自動的に呼出し、登録されていたメッセージ・コードに従ったメッセージを音声合成装置より送出することにより、呼出しの目的が何によるものかを知ることができる効果がある。

4. 図面の簡単な説明

第1図は本発明の一実施例を示す機能ブロック図、第2図は前記指定時間呼出し記憶装置の構成の一例を示す図である。

1……内線加入者(STA-A)、2……被呼内線加入者(STA-B)、3……主スイッチ

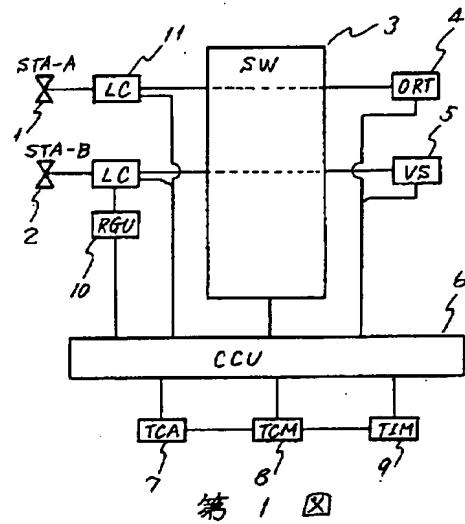
今内線加入者1が発呼びし、予め定められた指定時間呼出し登録コードをダイヤルした後、被呼内線番号、指定する時刻を続けてダイヤルし、次に音声合成装置5から送出可能な幾つかのメッセージの中で、被呼内線に伝えたいメッセージを指定するメッセージ種別コードをダイヤルすると、指定時間呼出番号分析回路7にて登録完了を分析する。さらに、内線加入者1は登録完了音を聴き復旧する。

指定された呼出時刻データと、被呼内線データ及び、音声合成メッセージ・コードデータは第2図に示すように指定時間呼出しメモリ8に登録される。

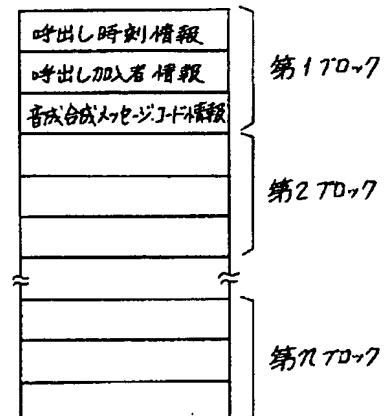
一方、中央制御装置6は定期プログラムで時計装置9から現在時刻を読み出し、第2図に示す記憶エリアの時刻データと比較し、一致を判定すると中央制御装置6の制御で呼出信号送出ユニット10より被呼内線加入者2を呼出す。被呼内線加入者2が応答すると、第2図の記憶エリアの音声合成メッセージ・コードデータより指定されたメッセ

(SW)、4……発信レジスタトランク(ORT)、5……音声合成装置(VS)、6……中央制御装置(CCU)、7……指定時間呼出番号分析回路(TCA)、8……指定時間呼出しメモリ(TCM)、9……時計装置(TIM)、10……呼出信号送出ユニット(RGU)、11……ライン回路(LC)。

代理人 弁理士 内原晋



第 1 図



第 2 図